

第21回 河川財団 研究発表会

— 河川の安全性と河道管理を考える —

日時 令和5年10月26日(木) 13:00～17:30 12:30 受付開始

会場 一橋大学 一橋講堂

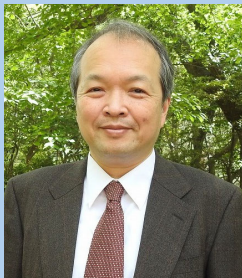
東京都千代田区一ツ橋 2-1-1
都営新宿線・三田線 東京メトロ半蔵門線 神保町駅 A8・A9 出口 徒歩4分
東京メトロ東西線 竹橋駅(1b 出口) 徒歩4分

本研究発表会は、河川管理に資することを目的に河川財団で実施している、最新の研究内容について発表するものです。今回は、特別講演として神戸大学大学院の角松生史教授(研究分野：行政法、都市法)をお招きして開催いたします。また、発表内容についての議論を深める場として、意見交換会を設けております。皆様のお越しをお待ちしております。



本発表会は、土木学会 CPD 認定プログラムです。

特別講演



水害訴訟と被災者補償

神戸大学大学院法学研究科 教授 角松 生史

講演者プロフィール

角松 生史 かどまつ なるふみ

1992年東京大学大学院法学政治学研究所博士課程単位修得退学。
1992年～1995年まで同大学社会科学研究所助手。
1996年九州大学法学部助教授を経て、2005年より現職。行政法・都市法専攻。
近年は縮小社会における空き家問題等の諸課題や財産権論について研究。

プログラム

| | | |
|-------|---------------------------------------------------|-------------------------------|
| 13:00 | 開会・主催者挨拶 | 理事長 関 克己 |
| 13:10 | 特別講演 | 神戸大学大学院法学研究科 教授 角松 生史 |
| 14:15 | 河川の安全性と河川管理責任を考える —大東判決・多摩川判決等で示された判断基準の観点から— | 河川総合研究所 次長 柄沢 祐子 |
| 14:55 | 休憩 | |
| 15:05 | 研究発表の解説 | 河川総合研究所 所長 天野 邦彦 |
| 15:20 | 河川に必要な安全性を備えるための河道管理に向けて | 河川総合研究所 上席研究員 鈴木 克尚 |
| 15:50 | 堤防管理に適した植生の実現「堤防植生管理」に向けて | 河川総合研究所 研究員 飯田 岳 |
| 16:15 | 休憩 | |
| 16:25 | 河川測量における点群データ活用上のポイント | 河川総合研究所 研究員 森永 泰司 |
| 16:45 | 出水中の河床計測を目指した UAV の開発 | 河川総合研究所 主管研究員 黒沼 尚史 |
| 17:10 | 近年の河川水難事故の特徴を踏まえた事故防止対策の提案 —こどもの水難事故のパターン整理より— | 子どもの水辺サポートセンター 主任研究員 菅原 一成 |
| 17:25 | 閉会・挨拶 | 河川総合研究所 所長 天野 邦彦 |
| 17:30 | 意見交換会 ※意見交換会に参加ご希望方は、会費としてお一人様2,000円のご負担をお願いします。 | |

申込み

下記、河川財団ホームページ URL または 右図 QR コードの「専用受付フォーム」よりお申込みください。

<https://www.kasen.or.jp/itemid023-230>



定員

先着 300 名 ※定員になり次第、受付を終了いたします。

締切

令和5年10月23日(月)

問合せ

河川財団研究発表会 事務局 担当：鈴木・軍司
E-mail : kasen-entry@kasen.or.jp

個人情報について

個人情報は、本研究発表会の連絡・受講証明書の発行・次回研究発表会のご案内以外には使用いたしません。